

2010年度

# 社会福祉法人麦の子会事業報告

## 1. 法人運営

平成 22 年度の事業活動並びに各関係の予算の執行については、事業計画に基づき各施設、各事業所等で検討と実施が行われ、有意義に目的を達成することができました。平成 22 年度は 12 月に児童福祉法の改正案が国会を通過し、平成 24 年 4 月からの施行が決まりました。

障害者自立支援法の中、ジャンプレッツは、生活介護、就労移行を行う多機能型に運営し 2 年目を迎えました。

生活介護では 5 名の利用者さんを迎えました。個人の能力にあわせ活動、作業を行いました。不安定な利用者さんはフットケア等、リラックスできる環境を整備することで、心身の安定を図ることができました。就労移行では、2 年目を迎え 2 名が段階を得て一般就労、専門学校 1 名進学しましたまた、体験入居を実施し、9 名が利用し自立への準備をすすめることができました。就労面だけではなく、家族支援にも力を入れ、利用者さんが安定して働けるよう支援を行いました。

ケアホームは、オリーブの新設により、新たに 4 名の方が利用を開始されました。

児童支援部門では、2010 年度の 4 月時点で通園 20 名・デイサービス 24 名の子どもが入園しました。2010 年度卒園児は、通園卒園 19 名、デイサービス卒園 19 名でした。

新たに児童デイサービスを 3 箇所新設しました。不登校の児童達を支援するチェリーブLOSSAM、幼児のニーズに応える年中・年長児対象のライオン、そして、年少児対象のセーボネスです。

事務運営機能では、各事業所にパソコンを導入しネットワークでつなぐことにより、事務作業の効率化を行いました。

職員処遇では、年度を繰り越して法人全体の研修を行いました。また、今年度も基本単位研修を行い、よりその充実を図りました。その中で、昨年に引き続き、統括部長、地域支援部長による発達の学習会では、より具体的に療育につなげるための研修内容とし、イメージをもった療育を行うことが出来ました。また、中堅職員は年間を通じてセラプレイを行い、スーパービジョンを受けることにより、自分の関わり方を見つめる機会を多く得ました。

全国からは、兵庫県のルネス花北の所長であり、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の委員でもある宮田先生には「障がいの受容について」、海老名市立わかば学園の園長の諏訪先生には「TEACCH について」、鎌倉のタスク代表の宇開先生からは、「学童期の支援について」を学び療育、支援の専門性の質を高めることに努力しました。

コンプライアンス、人権意識に関しては、職員会議のたびに総合施設長が意識向上に努めました。

また、母親だけではなく、父親にも参加してもらう親子発達支援を毎月行うことで、普段なかなか子どもの様子を見られない父親が、療育に対する理解を深める機会になり、父親、母親双方のニーズを把握することができたことで、その家族への理解を深める機会となりました。

今年度は、職員の接遇にも力を入れ、基本単位研修でもマナー講座を行い、どなたにも挨拶を丁寧におこなうこと、地域の方々との交流を深めていくこと、社会人としての職場のマナー形成などにもよりいっそう努力しました。改善された面もありますが、もっと質を向上させなければならない課題もありました。その他、ケースワーク等の専門性の向上、職員同士の連携など次年度に向けた課題も見えました。

メイスン財団の援助によるプール及びウッドデッキの設置、公園緑化協会の助成を得てのオリーブ庭園整備、そして日本財団助成による就労移行事業用食洗機の整備を与えられたことは感謝にたえません。

障がいのある子どもと利用者さん、家族を真ん中においたトータルな支援を職員が連携しミッションに基づいて、チームでアプローチしてきました。また、地域とのつながりを大事にした一年であり、地域の方々に支えられてきました。感謝致します。

## 1. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

### (1) 役員構成

- ①理事：田村 元（理事長）、月宮宏明、田澤泰明、北川聡子、古家好恵、北川健一
- ②監事：末永仁宏、辰田 収
- ③評議員：田村 元、光増昌久、月宮宏明、田澤泰明、北川聡子、古家好恵、北川健一、田村弥生子、寺嶋仁志、浅居正信、木戸一智、藤井良明、三塚勇太

### (2) 理事会の開催

- ①2009年度第8回理事会（2010年5月20日（木））
- ②2010年度第1回理事会（7月29日（木））
- ③同 第1回臨時理事会（6月18日（金））
- ④同 第2回臨時理事会（7月7日（水））
- ⑤同 第2回理事会（10月26日（火））
- ⑥同 第3回理事会（2011年1月24日（月））
- ⑦同 第4回理事会（3月22日（火））

### (3) 評議員会の開催

開催日、報告・諮問事項は、上記理事会と同一のため、省略。

### (4) 監査・指導の実施

実施者	監査実施日	監査項目
末永 仁宏監事 辰田 収監事	①2009年7月26日午後 ②2009年10月22日午後 ③2010年1月26日午後 ④2010年5月11日午後	法人定款第11条の規定に基づき、2009年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況。
札幌市	2009年7月13.14日	・法人 ・通園施設むぎのこ ・ジャンプレッツ
北海道 (実地指導)	2009年7月22日	・児童デイサービス事業むぎのこ ・児童デイサービス事業ジャンプレッツ ・ホワイトハウス ・ショートステイホームむぎのこ ・相談室セーボネス

## 2. 事業運営（波下線は本年度新規事業）

### (1) 第1種社会福祉事業

- ・知的障害児通園施設むぎのこの設置経営

### (2) 第2種社会福祉事業

- ・障害福祉サービス事業（生活介護ジャンプレッツ）
- ・障害福祉サービス事業（就労移行支援事業ジャンプレッツ）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービス事業むぎのこ）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービス事業ジャンプレッツ）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスプレイ）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスシーランチ）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスヨシア）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスチェリーブLOSSAM）
- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスセーボネス）

- ・障害福祉サービス事業（児童デイサービスライオン）
- ・障害福祉サービス事業（短期入所事業ショートステイホームむぎのこ）
- ・障害福祉サービス事業（短期入所事業ショートステイホームピース）
- ・障害福祉サービス事業（居宅介護事業むぎのこ）
- ・障害福祉サービス事業（重度訪問介護事業むぎのこ）
- ・障害福祉サービス事業（行動援護事業むぎのこ）
- ・障害福祉サービス事業（共同生活介護事業ホワイトハウス）
- ・障害福祉サービス事業（共同生活援助事業ホワイトハウス）
- ・移動支援事業（むぎのこ）
- ・相談支援事業（相談室セーボネス）

### (3) 公益事業

- ・むぎのこ発達クリニック
- ・日中一時支援事業むぎのこ